

2026年9月期第1四半期決算

MRI 三菱総合研究所

2026年2月5日

1

2026年9月期第1四半期決算

2

2026年9月期業績予想

3

トピックス

4

Appendix

2026年9月期 第1四半期のまとめ

- 連結増収増益： 1Qとして売上高・利益とも過去最高
- TTC増収増益： 前期末からの豊富な受注残を背景に、増収増益
- ITS増収増益： 増収効果に不採算影響の解消で増益

	実績	前期比
売上高	308億円	+31億円
	<ul style="list-style-type: none"> シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)：前期末からの豊富な受注残高の繰越を背景に、官公庁向けを中心に好調持続し増収 ITサービス(ITS)：前期末に引き続き公共向けシステム案件や、金融・カードの決済領域、一般産業向け伸長により増収 	
経常利益	38億円	+19億円
	<ul style="list-style-type: none"> TTC：増収効果の一方で経費微増にとどまり、増益 ITS：不採算案件影響の解消に加え、増収効果により増益 	
純利益	26億円	+16億円
	<ul style="list-style-type: none"> 政策保有株式の一部売却等 	

第1四半期連結決算 <前同比>

	2025年9月期 1Q	2026年9月期 1Q	【百万円】	
			前期比 増減額	増減率
売上高	27,706	30,899	+3,192	+11.5%
売上総利益	6,432	8,432	+2,000	+31.1%
売上総利益率	23.2%	27.3%	+4.1P	
販売費及び一般管理費	4,952	4,977	+24	+0.5%
営業利益	1,480	3,455	+1,975	+133.5%
営業利益率	5.3%	11.2%	+5.9P	
経常利益	1,938	3,857	+1,918	+99.0%
経常利益率	7.0%	12.5%	+5.5P	
親会社株主に帰属する当期純利益	991	2,634	+1,642	+165.6%

シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

	2025年9月期 1Q	2026年9月期 1Q	前同比	
			増減額	増減率
売上高	9,547	11,095	+1,548	+16.2%
営業利益	716	1,976	+1,259	+175.9%
営業利益率	7.5%	17.8%	+10.3P	
経常利益	1,069	2,286	+1,217	+113.8%
受注高	5,979	7,327	+1,348	+22.5%
受注残高	22,233	26,449	+4,216	+19.0%

主なポイント

- 官公庁のエネルギー関連、DX・デジタル化対応案件や民間向け経営戦略・マーケティング、AI・半導体関連案件等が寄与
- 増収の一方で経費微増にとどまり前同比大幅増益
- 引き続き需要旺盛、受注は官公庁を中心に順調に積み上がり

ITサービス(ITS)

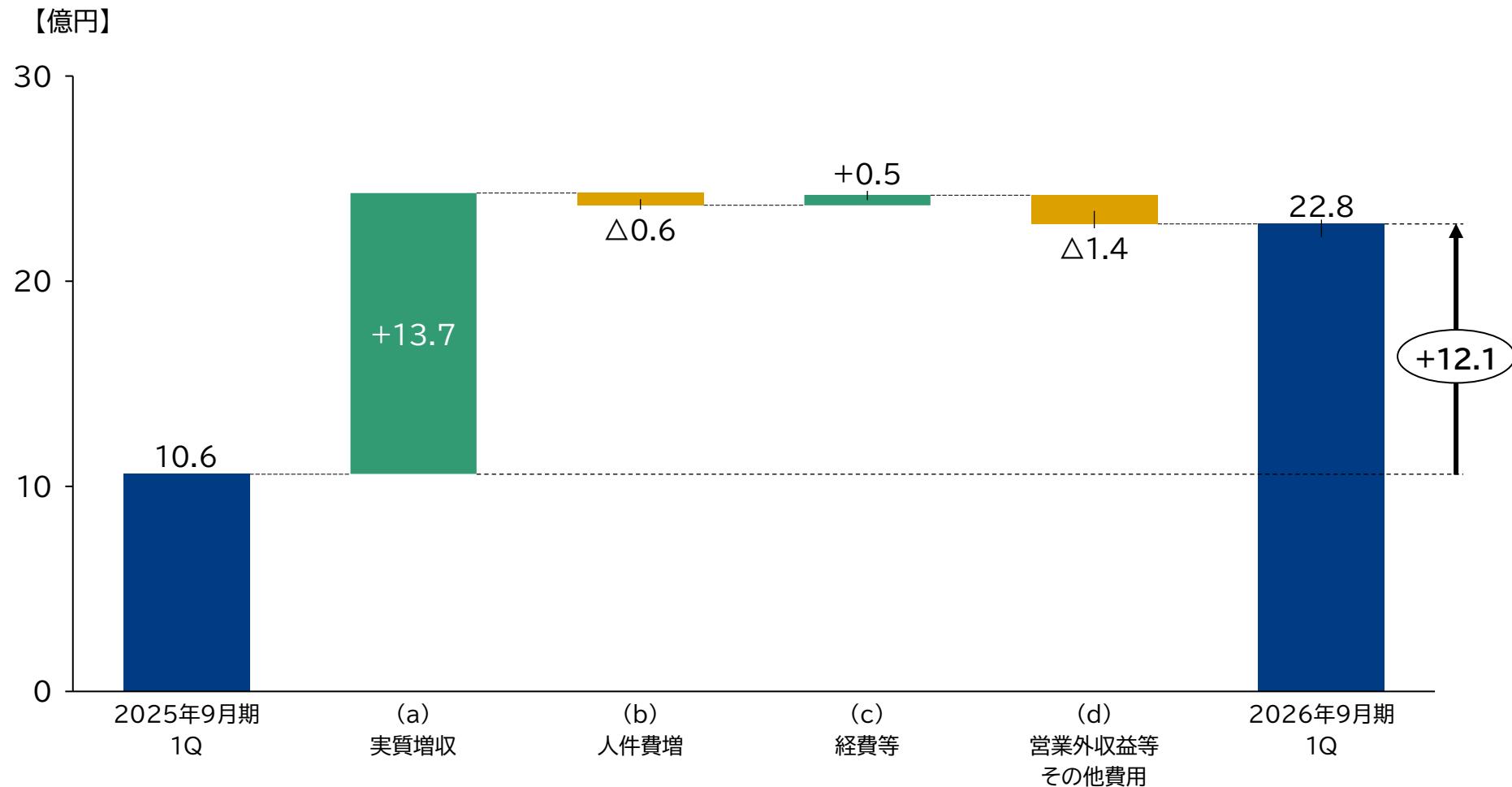
	2025年9月期 1Q	2026年9月期 1Q	【百万円】	
			前同比 増減額	増減率
売上高	18,159	19,803	+1,644	+9.1%
営業利益	769	1,480	+711	+92.5%
営業利益率	4.2%	7.5%	+3.3P	
経常利益	874	1,571	+697	+79.7%
受注高	17,824	14,229	△3,595	△20.2%
受注残高	49,271	44,740	△4,530	△9.2%

主なポイント

- 金融・カード向け(カード・決済関連案件等)を中心に、公共案件、民間向け(人材・文教向けサービスや基幹システム関連等)がけん引し増収
- 前期1Qの不採算案件影響や移転費用等の一過性要因の解消に加え、増収効果により増益
- 受注高、受注残高ともに金融・カード分野の大型案件完了に伴い大幅減少

TTC経常利益の変動要因 <前同比>

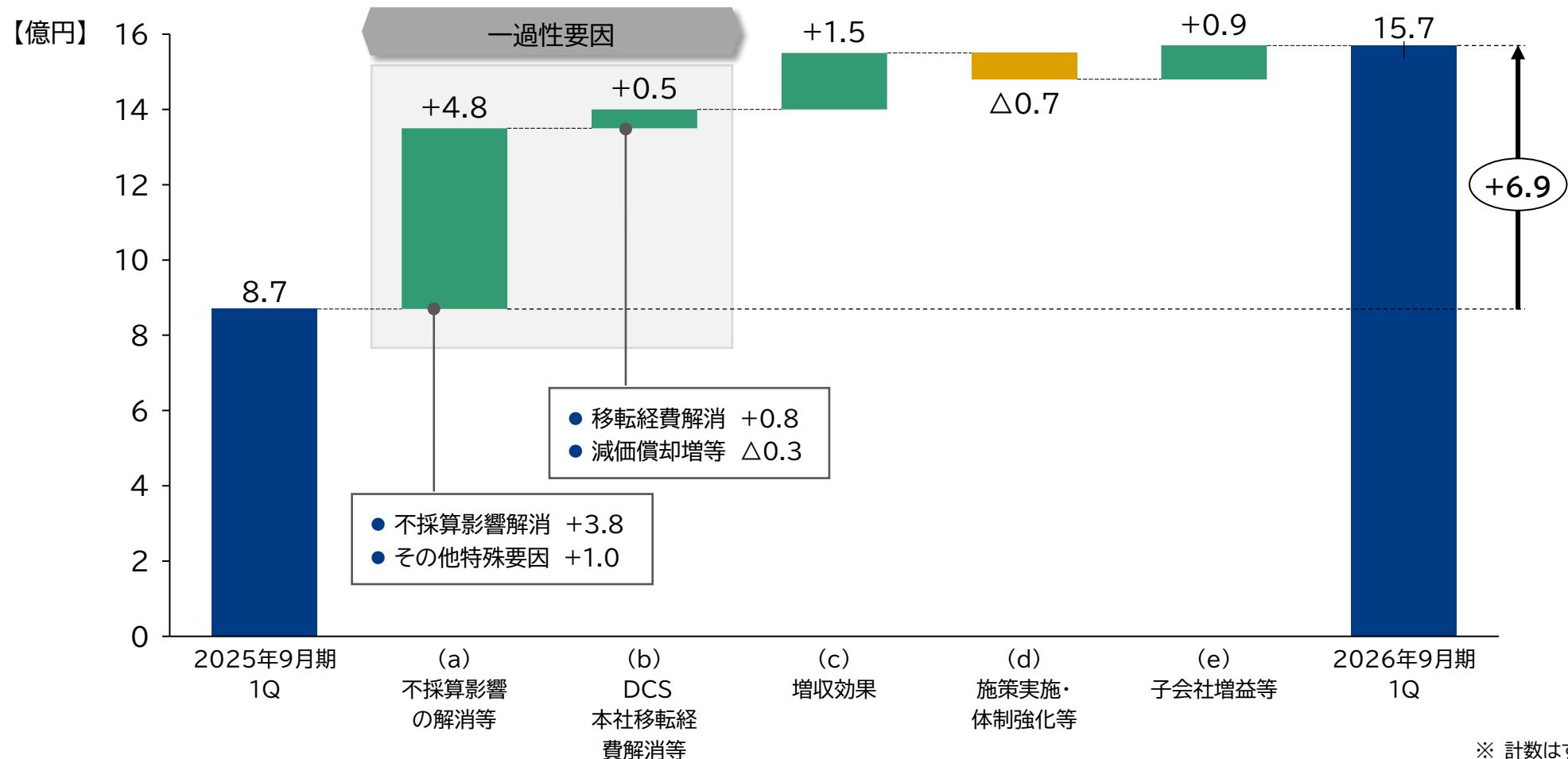
- TTCは(a)実質增收に対し、(b)～(d)の損益変動が小さく、経常利益大幅増
- 期初想定のAI投資や研究開発投資等は2Q以降に順次実施見込み



※ 計数はすべて概数

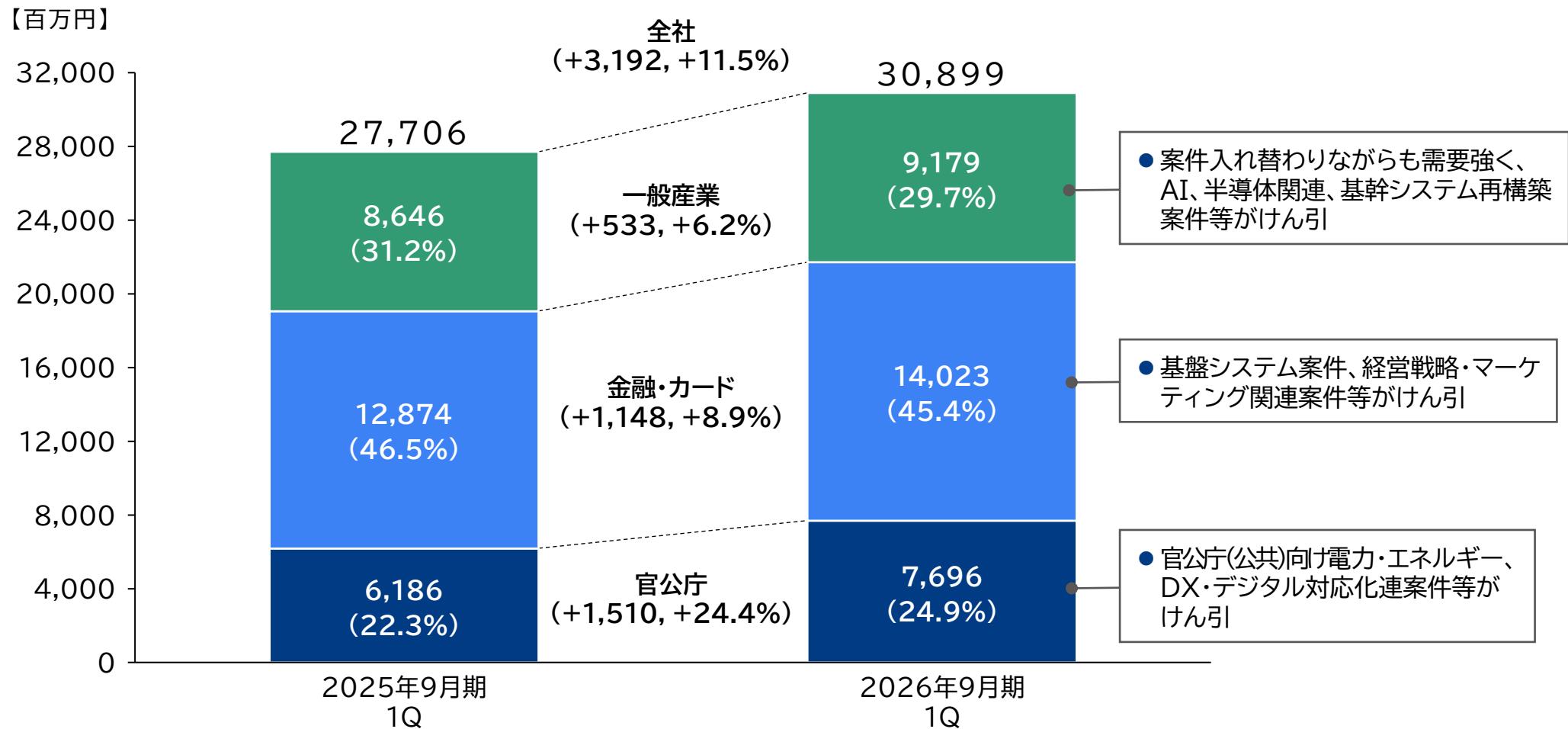
ITS経常利益の変動要因 <前同比>

- (a)～(b)の前期1Qにおける一過性要因解消等に加え、(c)の增收効果で増益
- (d)の経費増は(e)子会社増益等で打ち返し
- 期初想定の業務効率化は、下期以降の効果発現見込む



顧客業種別売上高 <前同比>

- 前期から繰り越してきた豊富な受注残高を背景に、全顧客業種で増収



セグメント別・顧客業種別売上高 <前同比>

				【百万円】	
		2025年9月期 1Q	2026年9月期 1Q	前同比	
TTC	官公庁	5,751	6,797	+1,046	+18.2%
	金融・カード	538	858	+320	+59.5%
	一般産業	3,257	3,438	+181	+5.6%
	TTC 計	9,547	11,095	+1,548	+16.2%
ITS	官公庁	434	898	+464	+107.0%
	金融・カード	12,335	13,164	+828	+6.7%
	一般産業	5,389	5,740	+351	+6.5%
	ITS 計	18,159	19,803	+1,644	+9.1%
合計		27,706	30,899	+3,192	+11.5%

第1四半期進捗率の推移(セグメント別・売上 + 受注残)

- 1Q売上 + 当期売上予定の受注残高の合計の、当期売上予想に対する進捗率は74.4%
- 進捗率は前同比+3.3Ptも、それ以前の2期と比べ△0.5~△1.2Pt
- 今期予想達成水準だが、2~3Qの受注状況を注視

【百万円】

		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
TTC	通期売上 ^(※1)	50,462	45,419	47,090	48,500
	1Q売上実績 +受注残高 ^(※2)	38,079	32,281	29,892	35,806
	1Q進捗率	75.5%	71.1%	63.5%	73.8%
ITS	通期売上 ^(※1)	71,663	69,942	74,367	73,500
	1Q売上実績 +受注残高 ^(※2)	54,305	54,094	56,415	54,940
	1Q進捗率	75.8%	77.3%	75.9%	74.7%
合計	通期売上 ^(※1)	122,126	115,362	121,458	122,000
	1Q売上実績 +受注残高 ^(※2)	92,385	86,376	86,307	90,747
	1Q進捗率	75.6%	74.9%	71.1%	74.4%

※ 1:2023年9月期~2025年9月期:実績値、2026年9月期:業績予想値

※ 2:1Q末時点の受注残高(当期売上予定分)

(参考)第1四半期進捗率の推移

【百万円】

		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
売上高	通期実績(※)	122,126	115,362	121,458	122,000
	1Q実績	27,459	27,668	27,706	30,899
	1Q進捗率	22.5%	24.0%	22.8%	25.3%
営業利益	通期実績(※)	8,688	7,060	8,010	7,500
	1Q実績	2,358	2,037	1,480	3,455
	1Q進捗率	27.1%	28.9%	18.5%	46.1%
経常利益	通期実績(※)	10,002	8,147	9,734	9,000
	1Q実績	2,677	2,437	1,938	3,857
	1Q進捗率	26.8%	29.9%	19.9%	42.9%

※ 2023年9月期～2025年9月期：実績値、2026年9月期：業績予想値

(参考)第1四半期進捗率の推移(セグメント別・売上高)

		【百万円】			
		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
TTC	通期実績(※)	50,462	45,419	47,090	48,500
	1Q実績	8,846	9,563	9,547	11,095
	1Q進捗率	17.5%	21.1%	20.3%	22.9%
ITS	通期実績(※)	71,663	69,942	74,367	73,500
	1Q実績	18,613	18,105	18,159	19,803
	1Q進捗率	26.0%	25.9%	24.4%	26.9%

※ 2023年9月期～2025年9月期：実績値、2026年9月期：業績予想値

(参考)第1四半期進捗率の推移(セグメント別・経常利益)

		【百万円】			
		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
TTC	通期実績(※)	4,428	4,237	5,715	5,300
	1Q実績	938	995	1,069	2,286
	1Q進捗率	21.2%	23.5%	18.7%	43.1%
ITS	通期実績(※)	5,560	3,909	4,037	3,700
	1Q実績	1,734	1,437	874	1,571
	1Q進捗率	31.2%	36.8%	21.7%	42.5%

※ 2023年9月期～2025年9月期：実績値、2026年9月期：業績予想値

(参考)事業別の進捗(MRI)

- TTCの中核を構成するMRI単体の集計値による事業別の実質の売上高※の見通し及び進捗

【単位:億円】

		2026年9月期 実質の売上高※		
		通期見通し	1Q実績 (前同比)	進捗率
合計		288	74.3 (+19.6%)	25.8%
集中領域	医療・介護	34	9.0 (+22.0%)	26.0%
	エネルギー・ サステナビリティ	51	12.5 (+12.0%)	24.6%
	ビジネス アナリティクス・AI	24	6.5 (+33.4%)	26.3%
総合領域	公共	108	27.2 (+18.9%)	25.1%
	経営・DX	69	18.9 (+20.7%)	27.4%

※「実質の売上高」とは:

MRIの売上高は、大型実証事業等、外部流出分の大きな案件の多寡により表面上の売上高が大きく変動するため、
外部流出分を除いた金額を、「実質の売上高」と定義

※ 計数はすべて概数

1

2026年9月期第1四半期決算

2

2026年9月期業績予想

3

トピックス

4

Appendix

2026年9月期 連結業績予想（期初予想から変更なし）

	2025年9月期 実績	2026年9月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	121,458	122,000	+541	+0.4%
TTC	47,090	48,500	+1,409	+3.0%
ITS	74,367	73,500	△867	△1.2%
営業利益	8,010	7,500	△510	△6.4%
営業利益率	6.6%	6.1%	△0.5P	
経常利益	9,734	9,000	△734	△7.5%
TTC	5,715	5,300	△415	△7.3%
ITS	4,037	3,700	△337	△8.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,386	5,800	△586	△9.2%
1株当たり当期純利益(円)	405.55	368.26	△37.29	△9.2%
ROE	9.2%	8.0%	△1.2P	

1

2026年9月期第1四半期決算

2

2026年9月期業績予想

3

トピックス

4

Appendix

トピックス：

高市政権の戦略分野と当社の強み・実績

- 日本成長戦略本部により17の戦略分野が決定
- 当社は、その多くの分野に実績や強みを有する



当社の強み・実績がある分野

重点投資対象17分野



① AI・半導体



⑩ 防災・国土強靭化



② 造船

⑪ 創薬・先端医療



③ 量子

⑫ フュージョンエネルギー(核融合)



④ 合成生物学・バイオ

⑬ マテリアル(重要鉱物・部素材)



⑤ 航空・宇宙

⑭ 港湾ロジスティクス(物流)



⑥ デジタル・サイバーセキュリティ

⑮ 防衛産業



⑦ コンテンツ

⑯ 情報通信



⑧ フードテック

⑰ 海洋



⑨ 資源・エネルギー安全保障・GX

トピックス：

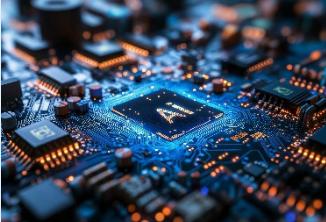
当社の集中領域×政府の戦略分野

- 2025年9月期決算説明資料で示したTTC事業方針のうち、「集中領域」としたテーマは、17の戦略分野のなかにも位置付けられている
- 当社は、これらの分野で積極的に取り組みを進めている

当社の集中領域	該当する戦略分野	当社の取り組み(主なリリースより)
電力・エネルギー	⑨ 資源・エネルギー・安全保障・GX	<u>日本の産業用ヒートポンプ技術でマレーシアの省エネ化を加速</u> (2025年10月30日)
		<u>三菱総合研究所とN-SIDE、エネルギー分野におけるコンサルティングサービス・ソリューションの共同開発等に向けた基本合意書を締結</u> (2025年8月5日)
医療・介護	⑪ 創薬・先端医療	<u>三菱総合研究所とアステラス製薬、MEDISO事業のうち、創薬スタートアップ支援プログラムで提携</u> (2025年6月13日)
		<u>【提言】エビデンスがつなぐ、医療・介護制度改革のラストマイル</u> (2025年9月12日)
ビジネス アナリティクス・AI	① AI・半導体	<u>AI自動音声応答による電話予約で送迎車が停留所に</u> (2025年4月7日)
		<u>AIエージェントを活用した「インテリジェンス基盤」を提供開始</u> (2025年3月5日)

トピックス：

戦略分野ごとの当社の主なリリース・提言や実績等(1)

戦略分野	主な取り組み例(・はプレスリリース、◆は受託業務実績)
① AI・半導体 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>十六銀行で「審査AIサービス」の実務適用開始</u> ・ <u>【提言】ワット・ビット連携:AI時代のインフラ国富論</u> ・ <u>生成AI技術の安全・迅速な導入を支援する「ララサポ」、企画・営業・専門技術職向けラインナップを拡充</u> ・ <u>半導体後工程の革新と完全自動化に向け、技術研究組合設立に参画</u> ◆ 総務省ICT利活用事業や地域課題解決に資するAI等の最先端技術のユースケース等に関する調査研究(R6・総務省) ◆ 高品質・高出力半導体レーザーに関する調査業務(R6・京都大学)
⑤ 航空・宇宙 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>UAEシンクタンクTRENDS Research & Advisoryと協力覚書を締結</u> ・ <u>衛星データ等の変化を検知し、南シナ海で新たな埋め立て等を確認</u> ◆ 宇宙空間における国際的なルール作りに関する調査(R6・内閣府) ◆ 月面活動に関するアーキテクチャに係る技術動向調査(R6・内閣府) ◆ 宇宙開発利用推進研究開発(月面におけるエネルギー関連技術開発)(R6・経産省)

当社実績は、🔗「[パブリックセクター受注実績\(2024年度\)](https://www.mri.co.jp/service/search_cases/dia6ou000000j7xr-att/R06.pdf)」より<https://www.mri.co.jp/service/search_cases/dia6ou000000j7xr-att/R06.pdf>

トピックス：

戦略分野ごとの当社の主なリリース・提言や実績等(2)

戦略分野	主な取り組み例(・はプレスリリース、◆は受託業務実績)
⑥ デジタル・ サイバーセキュリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>NECソリューションイノベータとヒューマン・デジタルツインの共同研究を開始</u> ・ <u>【DCS】「クラウドセキュリティ運用サービス」提供開始</u> ・ <u>【JBS】JBS×S&J、「ランサムウェア対応支援サービス」をリリース</u> ◆ 産業サイバーセキュリティ強靭化事業(ソフトウェアのセキュリティ確保等に関する調査)(R6・経産省) ◆ 中小企業におけるサイバーセキュリティ実態調査及びサプライチェーン対策の検討(R6・情報処理推進機構)
⑦ コンテンツ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放送コンテンツのネット配信促進に向けた仮想プラットフォームの構築に関する調査研究(R6・総務省) ◆ セキュリティリーダーのためのコンテンツ調査研究(R6・情報通信研究機構)
⑧ フードテック 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>「持続可能な食」に向けた生活者行動変容の共同研究を開始</u> ・ <u>ベトナムでコメ生産の気候変動対策・肥料吸収効率化を目指し圃場実証を実施</u>

当社実績は、🔗「パブリックセクター受注実績(2024年度)」より<https://www.mri.co.jp/service/search_cases/dia6ou000000j7xr-att/R06.pdf>

トピックス：

戦略分野ごとの当社の主なリリース・提言や実績等(3)

戦略分野	主な取り組み例(・はプレスリリース、◆は受託業務実績)
⑨ 資源・ エネルギー安全保障・ GX 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>NEDO「デジタルライフライン整備の推進に係る調査及びプロジェクトマネジメントオフィス業務」を受託</u> • 【提言】生成AIの普及が与える日本の電力需要への影響 • <u>ENEOSリニューアブル・エナジーと三菱総合研究所、蓄電池運転計画策定システムを共同開発</u> • <u>分散型エネルギー資源運用計画策定サービス「MERSOL Operations」を提供開始</u> • <u>大和エネルギーと再エネ併設型蓄電池事業の共同運用を開始</u> ◆ 資源自律経済確立産官学連携加速化事業(R6・経産省)

当社実績は、🔗「パブリックセクター受注実績(2024年度)」より<https://www.mri.co.jp/service/search_cases/dia6ou000000j7xr-att/R06.pdf>

トピックス：

戦略分野ごとの当社の主なリリース・提言や実績等(4)

戦略分野	主な取り組み例(・はプレスリリース、◆は受託業務実績)
⑩ 防災・国土強靭化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北大学と世界の防災力強化に向け国際標準開発 ◆ 防災DX分野の官民連携の高度化のための調査研究(R6・デジタル庁) ◆ インフラ施設管理における生成AIの利活用促進に向けた調査検討及び運営支援業務(R6・国交省) ◆ 能登半島地震に係る災害広報分野における検証支援業務(R6・石川県) ◆ 【MRA】南海トラフ沿いの巨大地震等に関する被害想定検証等業務(R6・内閣府)
⑪ 創薬・先端医療 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本CTX研究会、ドラッグ・ロス等の解消を目指し第二期提言を公開 ・ 厚生労働省「医療系ベンチャー・トータルサポート事業(MEDISO)」を受託 ・ 厚生労働省委託事業「Direct Flight」を通じ20者に英米展開支援、日本の創薬力を強化
⑫ フュージョンエネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内閣府「令和7年度 フュージョンエネルギーの社会実装促進に向けた調査」を受託

当社実績は、🔗「パブリックセクター受注実績(2024年度)」より<https://www.mri.co.jp/service/search_cases/dia6ou000000j7xr-att/R06.pdf>

トピックス：

戦略分野ごとの当社の主なリリース・提言や実績等(5)

戦略分野	主な取り組み例(・はプレスリリース、◆は受託業務実績)
⑯ 情報通信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務省「新東名高速道路の一部区間における自動運転レベル4トラック実証と連携したV2N通信を用いたユースケース実証に関する検討事業」を受託 ◆ 衛星通信システムのユースケース想定及び標準化動向調査実施前に必要となる動向把握・整理(R6・情報通信研究機構) ◆ メタバースに関する国内外の技術、市場及び制度動向に関する調査研究(R6・総務省情報通信政策研究所) ◆ 消防庁映像共有システムの利用促進に係る調査検討業務(R6・総務省消防庁) ◆ BS右旋帯域への4K放送の割当てのための再編等に係る技術検証等に関する調査検討(R6・総務省)
⑰ 海洋 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>洋上風力のポテンシャル海域を再分析 新たな自然・社会条件や漁業共生を考慮</u> ・ 【提言】<u>洋上風力と漁業の未来共創に向けた11の提案を発表</u> ◆ 高高度無人機による海洋状況把握技術の研究開発(R6・NEDO)

当社実績は、🔗「パブリックセクター受注実績(2024年度)」より<https://www.mri.co.jp/service/search_cases/dia6ou000000j7xr-att/R06.pdf>

1

2026年9月期第1四半期決算

2

2026年9月期業績予想

3

トピックス

4

Appendix

四半期別連結業績

Consolidated operating results by quarter

【百万円】【Million Yen】

	2024年9月期(FY2024)				2025年9月期(FY2025)				2026年9月期(FY2026)		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
売上高 Net sales	27,668	38,865	23,720	25,108	115,362	27,706	37,731	26,185	29,834	121,458	30,899
販売費及び 一般管理費等 SG&A expenses	4,319	4,410	4,885	4,744	18,358	4,952	4,666	5,726	5,382	20,728	4,977
営業利益 Operating profit	2,037	6,564	(1,542)	1	7,060	1,480	5,339	(186)	1,377	8,010	3,455
営業利益率 Operating profit margin	7.4%	16.9%	—	0.0%	6.1%	5.3%	14.2%	—	4.6%	6.6%	11.2%
経常利益 Ordinary profit	2,437	6,904	(1,201)	7	8,147	1,938	5,702	613	1,479	9,734	3,857
経常利益率 Ordinary profit margin	8.8%	17.8%	—	0.0%	7.1%	7.0%	15.1%	2.3%	5.0%	8.0%	12.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 Profit attributable to owners of parent	1,178	5,033	(1,362)	153	5,003	991	3,889	105	1,398	6,386	2,634

四半期別セグメント別業績

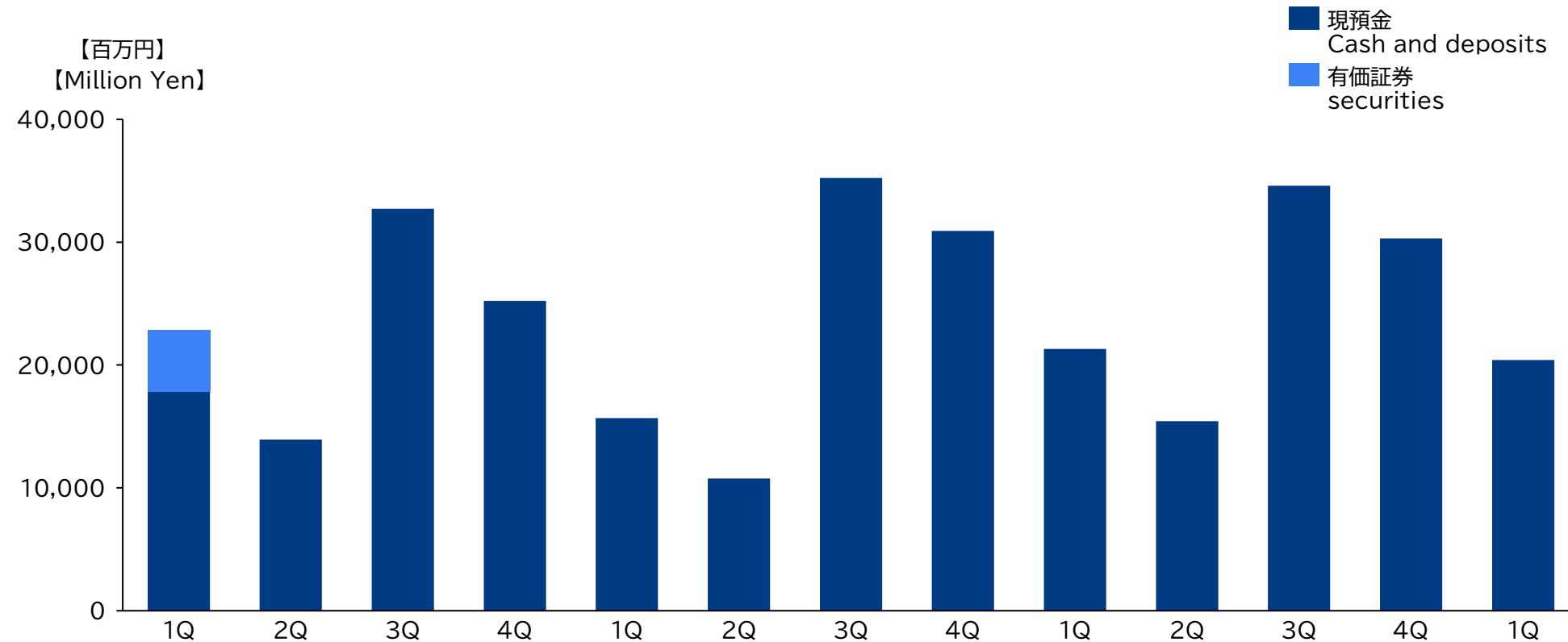
Segment operating results by quarter

【百万円】【Million Yen】

		2024年9月期(FY2024)				2025年9月期(FY2025)				2026年9月期(FY2026)		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	
TTC	売上高 Net sales	9,563	20,869	6,682	8,304	45,419	9,547	19,366	7,837	10,339	47,090	11,095
	営業利益 Operating profit	703	4,956	(1,722)	(534)	3,402	716	4,278	(721)	71	4,344	1,976
	営業利益率 Operating profit margin	7.4%	23.8%	—	—	7.5%	7.5%	22.1%	—	0.7%	9.2%	17.8%
	経常利益 Ordinary profit	995	5,238	(1,482)	(513)	4,237	1,069	4,579	(79)	146	5,715	2,286
	経常利益率 Ordinary profit margin	10.4%	25.1%	—	—	9.3%	11.2%	23.6%	—	1.4%	12.1%	20.6%
ITS	売上高 Net sales	18,105	17,996	17,038	16,803	69,942	18,159	18,364	18,348	19,495	74,367	19,803
	営業利益 Operating profit	1,329	1,607	181	538	3,657	769	1,062	545	1,306	3,683	1,480
	営業利益率 Operating profit margin	7.3%	8.9%	1.1%	3.2%	5.2%	4.2%	5.8%	3.0%	6.7%	5.0%	7.5%
	経常利益 Ordinary profit	1,437	1,666	281	523	3,909	874	1,124	702	1,335	4,037	1,571
	経常利益率 Ordinary profit margin	7.9%	9.3%	1.7%	3.1%	5.6%	4.8%	6.1%	3.8%	6.8%	5.4%	7.9%

四半期別現金保有高

Cash and deposits by quarter



	2023年9月期 (FY2023)				2024年9月期 (FY2024)				2025年9月期 (FY2025)				FY 2026
現預金 Cash and deposits	17,848	13,943	32,728	25,226	15,686	10,766	35,235	30,927	21,308	15,421	34,594	30,310	20,407
有価証券 securities	5,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点での入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : ir-info@ml.mri.co.jp

URL : www.mri.co.jp/

未来を問い合わせ、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所